

施策名：地球環境問題への取り組みの推進

事業名	担当課・室名	ページ
地球温暖化対策推進事業	地球環境対策課	2 / 5
防災拠点再生可能エネルギー導入事業	地球環境対策課	3 / 5
竹林環境改善整備事業	森との共生推進室	4 / 5
森林づくりボランティア活動促進事業	森との共生推進室	5 / 5

事業名	地球温暖化対策推進事業		事業期間	平成 21 年度～平成 年度	政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
					施策区分	地球環境問題への取り組みの推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課 (室) 名	地球環境対策課	評価者	地球環境対策課長 望月 晃

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分県内のCO2排出実績(2012年速報値)は、大分県地球温暖化対策地域推進計画に定める目標値と比べ、家庭・業務・運輸部門で大きな乖離がある。地球温暖化防止のためには、県民、事業者及び行政が連携して、CO2などの温室効果ガスの排出抑制対策を推進していくことが課題となっている。	事業の目的	家庭部門、業務部門、運輸部門におけるCO2排出量を削減するため、節電・省エネに関する啓発を実施するとともに、CO2排出抑制対策を推進する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
家庭向け省エネ診断の実施	専門ソフトを用いて、各家庭のエネルギー使用量や光熱費、CO2排出量を算出し、改善策を提案(169件) 委託先：NPO法人大分県地球温暖化対策協会	・NPO法人大分県地球温暖化対策協会へ委託(H23～)	総コスト	64,953	39,413	57,019
事業所向け省エネ診断の実施	事業所や工場を直接訪問し、エネルギーの使用状況や設備の運用方法を確認し、改善策を提案(52件) 委託先：NPO法人大分県地球温暖化対策協会	・NPO法人大分県地球温暖化対策協会へ委託(H22～)	事業費	49,953	19,413	37,019
エコ通勤割引制度の実施	毎週水曜日にエコ通勤割引を実施(パス申請者：526名)		(うち一般財源)	4,110	1,660	2,429
			人件費	15,000	20,000	20,000
			職員数(人)	1.50	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	家庭向け省エネ診断受診数(件)	目標値	600	700	800			
	実績値	611	780					
	達成率	101.8%	111.4%					
事業所向け省エネ診断受診数(件)	目標値	220	240	260				
	実績値	501	553					
	達成率	227.7%	230.4%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	1世帯当たりの年間電力消費量(kWh)	目標値	5,386	5,212	5,270			
	実績値	5,718						
	達成率	94.2%						

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・家庭、業務、運輸各部門毎のCO2排出抑制対策を推進するとともに、気候変動の影響を軽減するための取組を推進				

事業名	防災拠点再生可能エネルギー導入事業		事業期間	平成 25 年度～平成 28 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
				施策区分	地球環境問題への取り組みの推進		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	地球環境対策課		評価者	地球環境対策課長 望月 晃

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分県地球温暖化対策地域推進計画に基づき、主に家庭、業務、運輸部門のCO2排出削減に向けた取組を進めているが、3部門とも目標値に達していない。	事業の目的	再生可能エネルギーの導入により、災害時等の非常時における防災対策を強化することと併せて、通常時においては、省エネによる二酸化炭素排出量の抑制を推進する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
市町村の再生可能エネルギー導入補助	太陽光発電システム、蓄電池の導入を補助 (由布市)	・事業効果の最大化を図るため、事業着手前に設置建物の耐震性や導入規模などを審査するための事前調査を実施	総コスト	92,156	119,235	514,336
			事業費	82,156	109,235	499,336
			(うち一般財源)		9,552	
			(うち繰越額)		98,600	19,205
			人件費	10,000	10,000	15,000
		職員数(人)	1.00	1.00	1.50	

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	今後の課題
	再生可能エネルギーの導入箇所数 (28年度は累計)	目標値	8	1	15	24		
	実績値	8	1					
	達成率	100.0%	100.0%					
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (28年度)	評価	事業の成果
	再生可能エネルギーを導入した市町村数(28年度は累計)	目標値	6	1	7	14		
	実績値	6	1					
	達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

・平成28年度末の事業終了期間に向けて、国から配分を受けた再生可能エネルギー等導入推進基金を有効に活用し事業を実施

事業名	竹林環境改善整備事業 (旧おおいた竹林再生モデル事業)		事業期間	平成 26 年度～平成 27 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～ごみゼロおおいた作戦の推進～
				施策区分	地球環境問題への取り組みの推進		
総合評価	C	継続・見直し	事業実施課(室)名	森との共生推進室		評価者	森との共生推進室長 藤本 浩

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	竹林やタケノコなどの生産減少に伴い荒廃竹林面積が増加しており、生物多様性や景観の保全等、里山林の有する機能の低下が懸念されている。	事業の目的	県土の保全と良好な景観を保全するため、主要観光地周辺や幹線道路沿線の荒廃竹林の荒廃竹林の伐竹整備、広葉樹林への転換等を推進するほか、竹材、タケノコ生産地として持続的管理が見込める竹林の再生を推進する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
広葉樹林化及び景観保全	荒廃竹林の広葉樹林化 (1.02ha)	・補助事業化 (H24～)	総コスト	34,654	33,726	42,955
空港道路竹林整備	空港道路沿線の荒廃竹林の広葉樹林化 (1.48ha)	・施業の機械化の検討	事業費	29,654	28,726	37,955
優良竹林化	タケノコ等生産竹林の優良竹林化 (17.05ha)	・研修内容をタケノコ生産のみに簡素化 (H23～)	(うち一般財源)			
たけのこ生産竹林楽校	タケノコ生産に必要な基本的知識、技術等の研修会の開催 (3回開催、31人参加)		人件費	5,000	5,000	5,000
			職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	今後の課題	
								a	
竹材・タケノコ生産者の参入数	目標値		16	16	16	16	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや市報等の活用による研修会のPR活動及び受講者数の確保 ・タケノコ生産者増加によるタケノコ産業の振興及び竹林整備面積の増加 ・市町村、竹林所有者への竹整備の働きかけの推進 	
	実績値		16	16					
	達成率		100.0%	100.0%					
伐竹整備事業実施主体数	目標値		16	16	16	16			
	実績値		15	15					
	達成率		93.8%	93.8%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成 (27年度)	評価	事業の成果	
								c	
荒廃竹林整備面積 (ha/年)	目標値		27.00	27.00	27.00	27.00	c	各竹林の面積が狭く、事業実施に当たっては多数の竹林所有者との調整等に難航し、荒廃竹林の広葉樹林化、優良竹林化で約20haの整備ができたものの、目標達成には至らなかった。	
	実績値		22.77	19.55					
	達成率		84.3%	72.4%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・荒廃竹林対策は、森林環境税活用事業の重点的に取り組むべき課題の一つであるため、引き続き実施 ・造林事業(国庫補助)への上乘せにより竹林整備を推進 ・竹の新たな需要の検討(竹材バイオマス発電) ・ボランティアによる竹林整備の推進				

事業名	森林づくりボランティア活動促進事業		事業期間	平成 18 年度～平成 27 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承 ～ごみゼロおいた作戦の推進～
						施策区分	地球環境問題への取り組みの推進
総合評価	C	継続・見直し	事業実施課（室）名	森との共生推進室		評価者	森との共生推進室長 藤本 浩

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	森林ボランティア参加者数は年々増加しているが、近年増加率が鈍くなっているため、森林ボランティア養成研修の見直しや、若者など幅広い層の森林ボランティアを養成することが課題となっている。	事業の目的	県民一人ひとりが身近な森林づくりに参加し、県民みんなで森林を守る意識を醸成するとともに、森林ボランティア活動の活性化を図る。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
森林ボランティア支援センター事業	森林づくり活動情報の収集・発信、ボランティア登録	・事業をNPOへ委託(H18～)	総コスト	36,279	37,226	36,110
森林づくりボランティア技術向上事業	森林ボランティアを養成するための研修会開催(6回)		事業費	24,279	25,226	24,110
企業参画の森林づくり推進事業	企業が協定を締結し行う森林づくり活動の支援(新規0社)	・森林づくり対象地のデータベース化(H18～)	(うち一般財源)			
森林づくり提案事業	NPO等が自ら取り組む森林づくり活動の支援(50団体)		人件費	12,000	12,000	12,000
		・事業メニューの一本化(H25～)	職員数(人)	1.20	1.20	1.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
森林づくりボランティア支援センター通信の発行(回)	目標値	12	12	12	12	C	・森林ボランティア養成研修受講者が減少傾向にあることから、講座内容や日程の見直し、若者など新規受講者の開拓		
	実績値	12	12						
	達成率	100.0%	100.0%						
森林ボランティア養成研修受講者(人)	目標値	140	140	120	120				
	実績値	98	93						
	達成率	70.0%	66.4%						

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
森林づくりボランティア参加者数(人)	目標値	11,600	12,300	13,000	13,000	a		本事業の実施により、県民やNPO、企業等による森林づくり活動の推進が図られるとともに、年間ボランティア参加者数が延べ1.2万人を超え、目標としている1.3万人に近づきつつある。	
	実績値	12,832	12,902						
	達成率	110.6%	104.9%						

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針	・森林ボランティア養成研修の講座内容、実施回数の見直し			